

平成25年度 肝炎情報センター主催 看護師向け研修会

肝疾患相談センターから 看護師に期待すること

北海道大学病院

肝疾患相談センター看護師 銭谷 菜子



北大病院
肝疾患相談センター
肝臓ナースちゃん



厚生労働省 肝炎総合対策の5本柱

1、肝炎治療促進のための環境整備

⇒B型C型ウイルス性肝炎に対するインターフェロン治療及び
核酸アナログ製剤治療への医療費助成

2、肝炎ウイルス検査の促進

⇒保健所などにおける肝炎ウイルス検査の受診勧奨と検査体制の整備
⇒市町村における肝炎検査などの実施

3、肝疾患診療体制の整備、医師等に対する研修、相談体制整備などの患者支援等

⇒診療体制整備の拡充

⇒肝硬変・肝がん患者に対する心身両面のケア、医師に対する
研修の実施

全国47都道府県70病院
肝疾患診療連携拠点病院

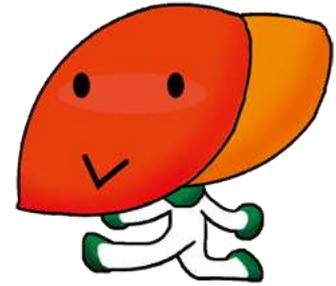
4、国民に対する正しい知識の普及啓発

⇒教育・職場・地域など、あらゆる方面への正しい知識の普及

5、研究の促進

⇒肝疾患の新たな治療法等の研究開発を促進する。

肝疾患診療連携拠点病院の目的



肝疾患診療の均てん化 医療水準の向上

役割

- ① 肝疾患にかかわる一般的な医療情報の提供
- ② 都道府県内の肝疾患に関する専門医療機関等に関係する情報の収集や紹介
- ③ 医療従事者や地域住民を対象とした研修会や講演会開催、肝疾患に関する相談支援業務
- ④ 肝疾患に関する専門医療機関と協議の場の設定

北海道大学病院

病床数：946床

外来患者数 3160人/日

看護部職員：836名 専門看護師 3名
認定看護師 22名

平成9年4月～エイズ診療ブロック拠点病院

平成21年4月～がん診療連携拠点病院
(平成25年4月更新)

平成21年8月～北海道高度がん診療中核病院

平成25年2月～小児がん拠点病院

臓器移植施設

災害拠点病院 等…



肝疾患相談センター

平成21年8月24日

『肝疾患診療連携拠点病院』に指定
平成22年4月から

「肝疾患相談センター」を設置

肝臓専門医師1名（兼任）

看護師1名（専任）

事務担当者1名（専任）

北海道には3つの
拠点病院があります

◆ 旭川医科大学病院

◆ 北海道大学病院

◆ 札幌医科大学附属病院



札幌テレビ塔キャラクター
「テレビ父さん」

肝疾患相談センター

相談員(ナース)の役割

- ◆ 客観的視点から肝疾患についての
正しい情報提供をする
- ◆ 相談者（またはその家族）の思いを
十分に受け止め、情報を整理し納得した
治療や療養を受けられるように支援する
- ◆ 院内での肝疾患治療チームの推進
- ◆ ほかの医療機関とのネットワークの構築



主な活動内容

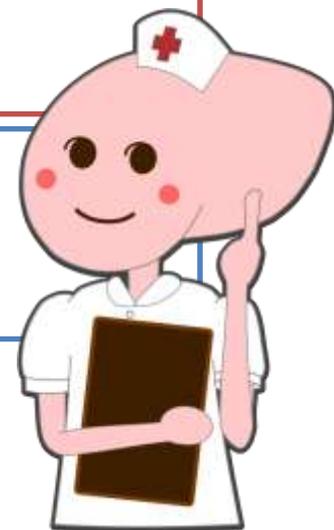
肝臓病教室・患者サロン

市民公開講座

医療従事者を対象とした
講演会・研修会

電話による相談の受付

これらを中心に
活動しています。



肝疾患における看護師の役割



- ◆ 肝疾患診療や治療について適切な情報提供
- ◆ 治療や療養に対する意思決定のサポート
- ◆ 治療に伴う副作用に対応し、看護ケアを提供
- ◆ 病気をコントロールできるセルフケアへの援助
- ◆ 治療や療養生活を継続できるための日常生活支援
- ◆ 医師や他部門との連携、他職種への適切な橋渡し

《肝疾患診療連携拠点病院のナースとして》

- ◆ 肝疾患診療連携拠点病院の役割を理解し、
地域における医療機関との連携と情報の共有

電話相談事例から 看護師の役割を考える



現在慢性C型肝炎で治療中。
半年やったがウイルスは消えていない。
副作用が辛いことを伝えると
突然「治療をやめましょう」と言われた。
どうしてなのか？説明がない。
主治医に不信感がある。



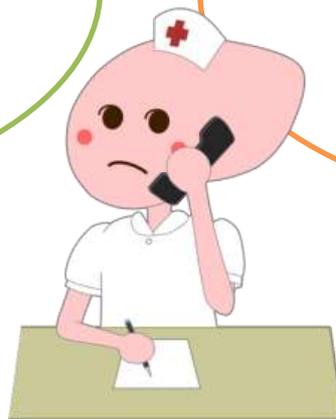
50代後半
Aさん

肝疾患相談センター看護師《相談員》としての対応

相談者の話をよく聴く。
辛い気持ちを受け止める。
今までの頑張りを支援する。

情報を整理
し、提供す
る。

治療を継続
できるように
支援する。



電話相談の特性と限界

①即時性・随時性

いつでもどこからでも
アクセスできる。

②匿名性

身元を明かさなくてもいい、顔や姿を見せなくてもいい。

③一回性

基本的には一期一会の関係。

④直接介入はできない。

⑤情報が一方的

事実関係は分からない

⑥相談員の経験値や力量の限界

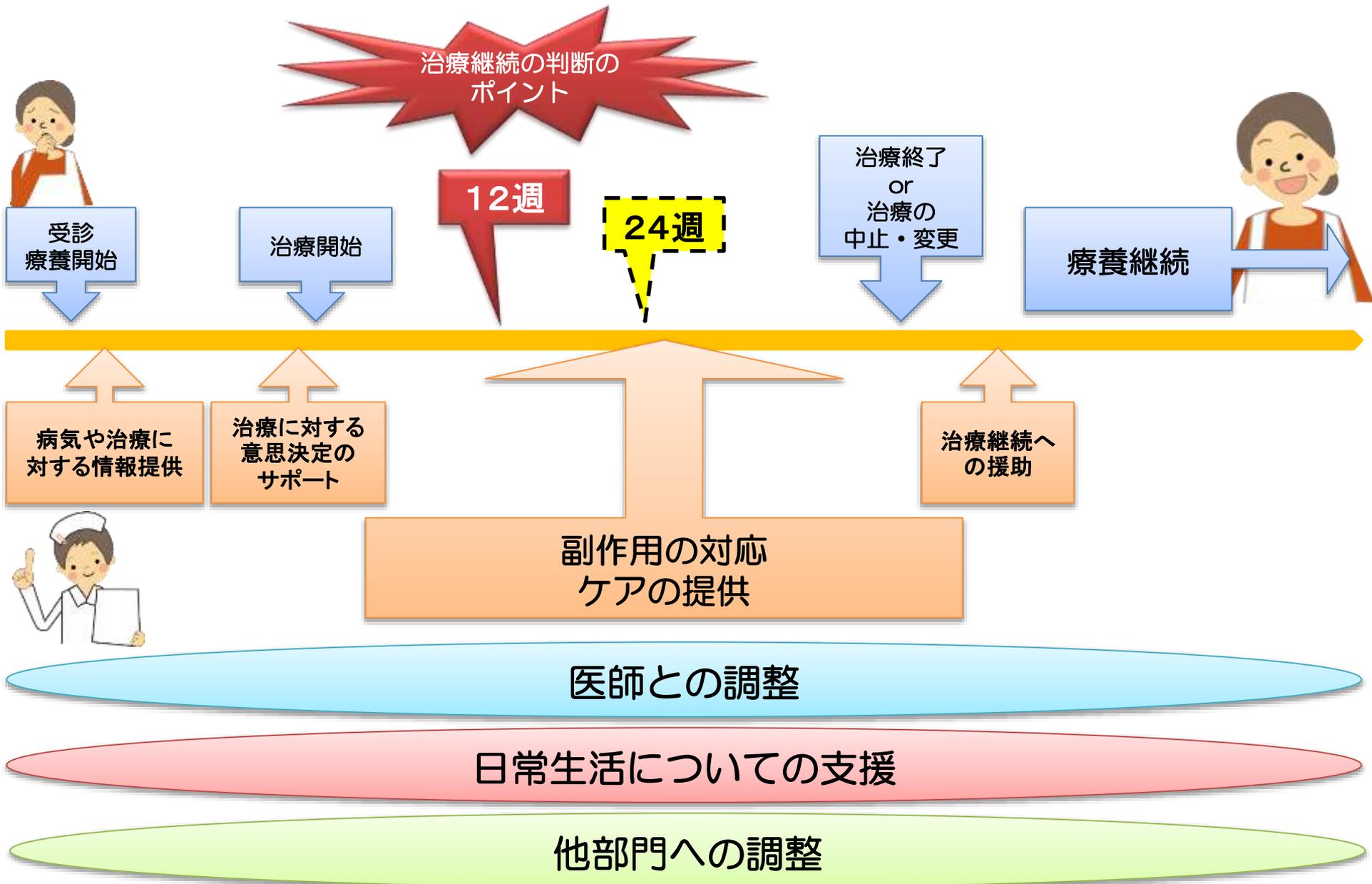


相談者の自律を促すことが最終の目的

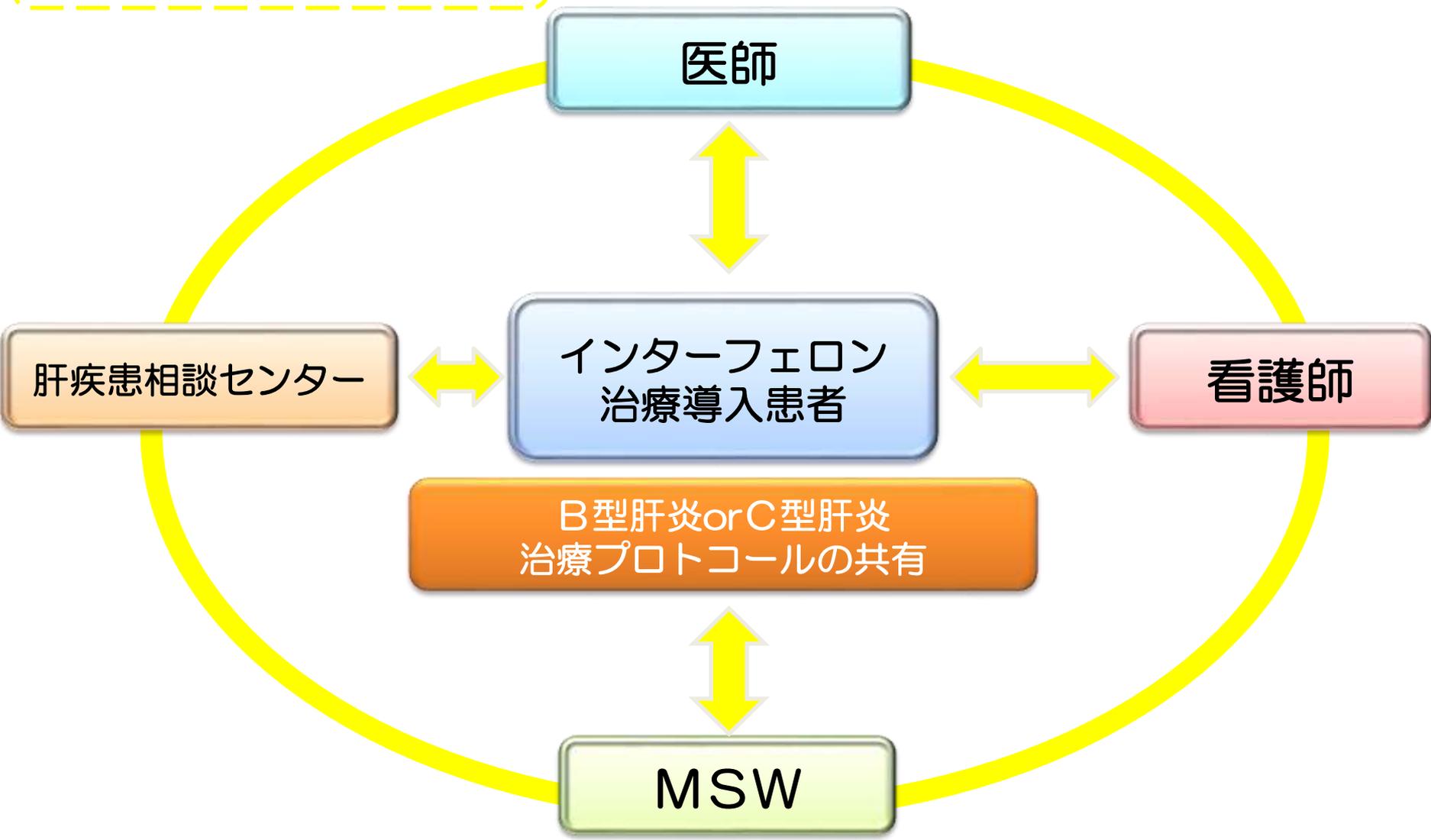
※自律＝自らの価値観を持って、組織全体の価値観と整合性を図りながら目的と手段をつくりだし進んでいけること。そして他に働きかけることができること。

C型肝炎治療の経過で必要な看護

(ペグインターフェロン・リバビリン併用療法)



連携体制の構築



娘について相談です。
娘はB型肝炎で定期的に受診していたが、
今回、肝炎に進んでいることがわかった。
病院ではIFNを勧められたが、
副作用を聞いただけで尻込みしてしまった。
治療について教えてほしい。



60代
Bさん

肝疾患相談センター看護師《相談員》としての対応

相談者の話をよく聴く。
辛い気持ちを受け止める。

治療や副作用に
ついて
情報提供をす
る。

日常生活支援



この事例を通して思ったこと。

B型肝炎は…

母子感染



自分が感染源だと悩む…

経過は一様ではない



キャリアでも
必ず経過観察が必要…
発がんの可能性があ
る。

治療が不確実



副作用の辛い治療との
向き合いかた

看護師の役割は大きい

皆さん、この電話相談を受けて
どのように感じましたか？



- ◆ 肝疾患を抱える人や家族は長い経過の中で治療の選択や病気の進行など様々な場面に遭遇するため、それを支援する看護師の役割は重要と考えた。
- ◆ 肝疾患看護をテーマとしたセミナーを行い、病気や治療の理解を深め、看護の共有をする必要がある。
- ◆ 肝疾患診療連携拠点病院・肝疾患相談センターの役割や活動を広く周知したい。
- ◆ 肝疾患相談センターの活動を通して得た情報や患者の声を伝え、共有する必要がある。



2011年9月3日から『ナースのための肝臓病セミナー』を開催

『ナースのための肝臓病セミナー』 の実際



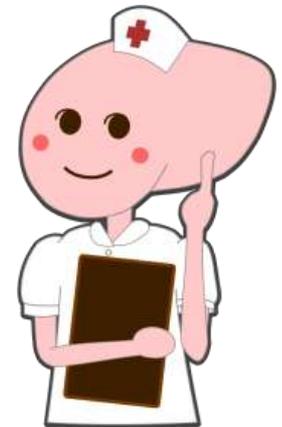
目的

肝疾患看護の向上と均てん化

- ◆肝疾患診療、治療への知識を深める
- ◆肝疾患看護の役割を理解し、
質の高い看護を提供できる
- ◆肝疾患診療連携拠点病院及び、各地域に
おける医療機関との連携・情報の共有

肝疾患相談センターの活動報告で 伝えてきたこと

- ◆肝疾患診療連携拠点病院の役割
肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患相談センターの紹介
北大病院肝疾患相談センターの活動内容
- ◆電話相談に寄せられた内容と対応
具体的な事例の報告とその対応
- ◆肝臓病教室の実際や患者サロンでの参加者の反応
肝臓病教室の講演内容の紹介
患者サロンの様子や参加者の反応
- ◆肝疾患患者の特徴や看護師の役割



今まで開催した内容

第1回 ウイルス性肝炎の病態と看護

2011年9月3日(土)

- B型慢性肝炎・C型慢性肝炎の病態と治療
- 肝炎の治療薬の特徴と注意点
- インターフェロン中の看護
- 肝臓病に関する医療助成制度

第2回 ザ・肝硬変

2012年5月26日(土)

- 肝硬変の診断と経過
- 肝硬変患者の看護 肝性脳症への退院時指導の取り組み
- 肝硬変の食事療法

第3回 肝がんの内科的治療と化学療法看護

2012年11月17日(土)

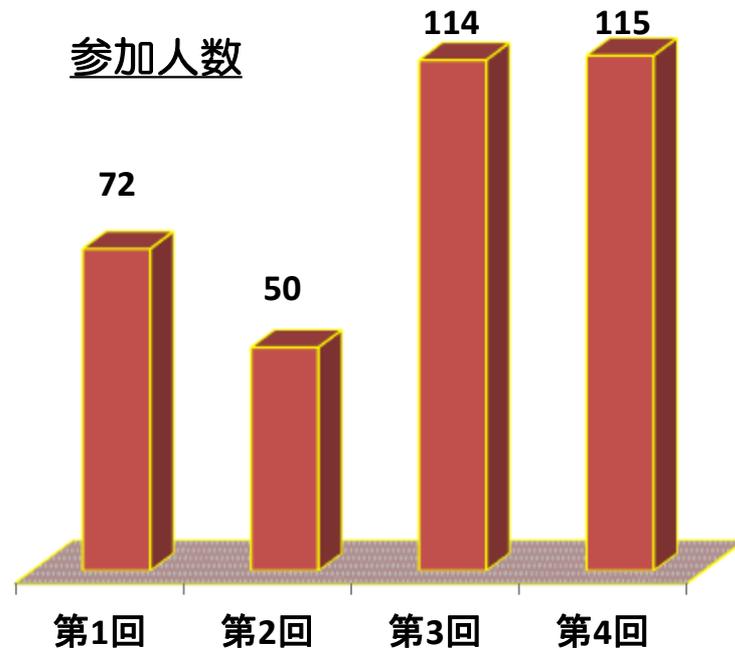
- 肝臓病看護 慢性看護の視点から
- 肝がんの診断と治療 内科的治療を中心に
- 肝がんの化学療法看護

第4回 C型肝炎

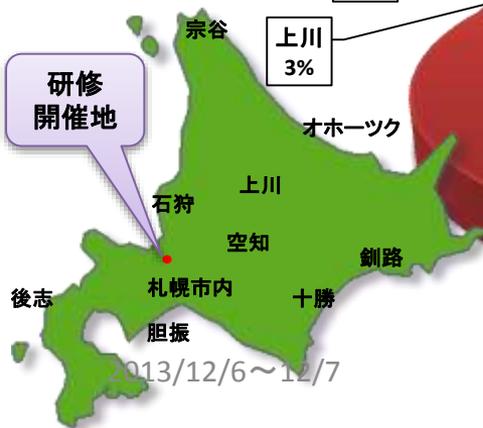
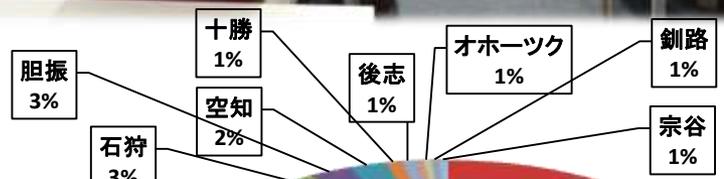
2013年5月18日(土)

- C型肝炎治療の現況とこれから
- 外来におけるC型肝炎患者の看護

ナースのための肝臓病セミナーの風景

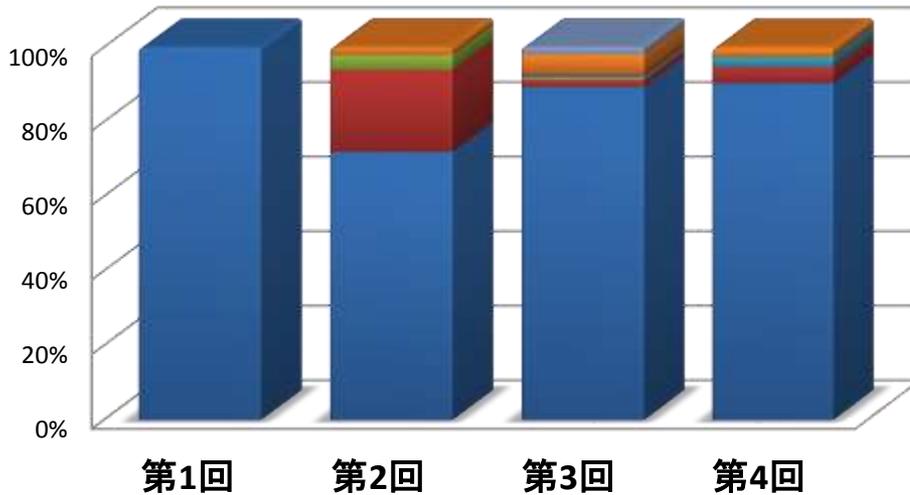


肝臓病教室の様子を伝えています。



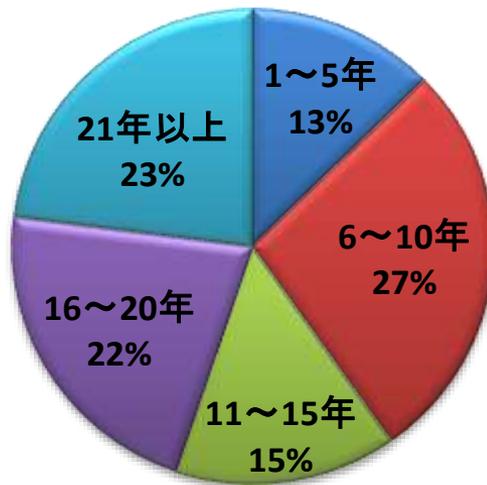
参加地区
(第1~4回平均値)

参加職種

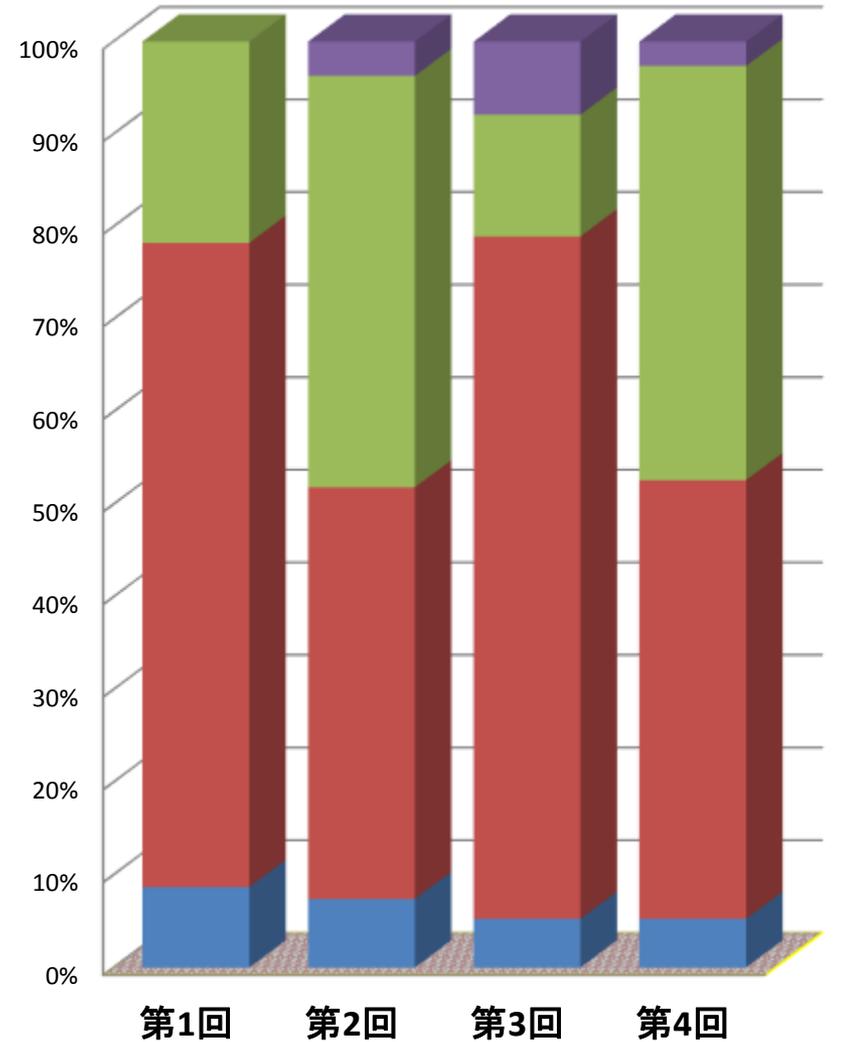


その職種の 経験年数

(第4回の集計より)

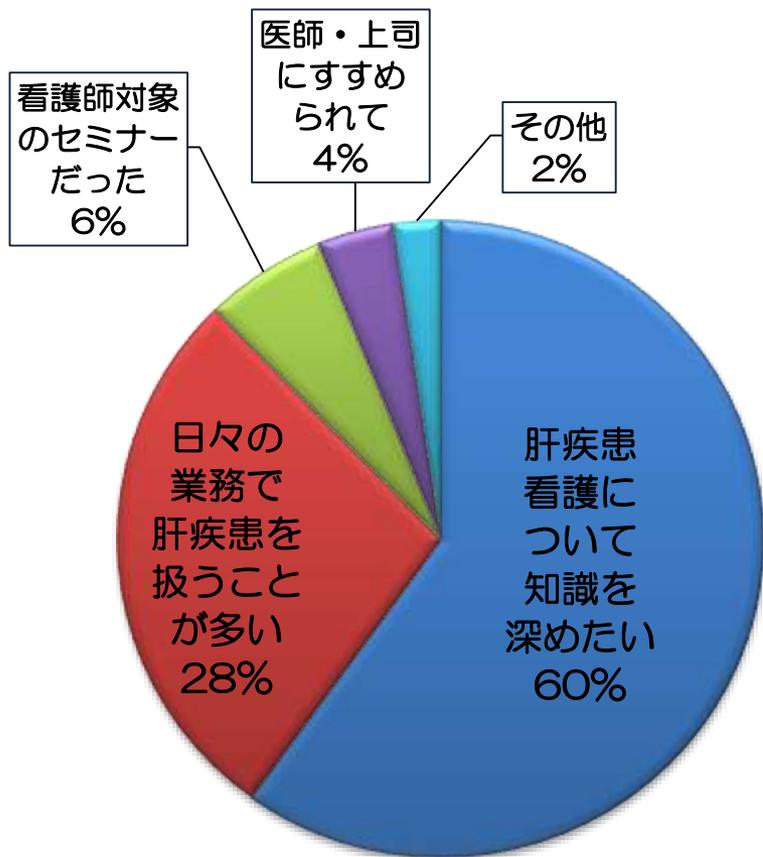


参加施設

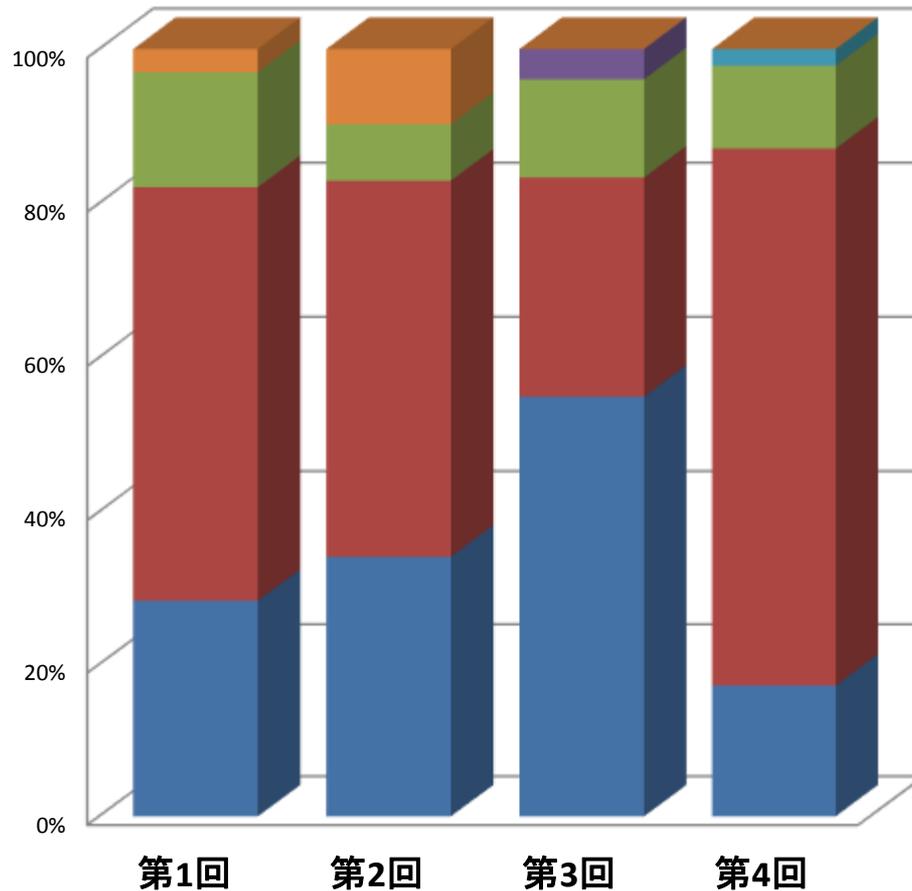


参加を決めた理由

(第1～4回平均値)



今後の自身の看護に活用できますか…?



セミナーに参加しての感想 自由記載

- ◆ 現在、自分が行っている看護の根拠を改めて考えることができて良かった。
- ◆ 今後、看護を行う上で患者側の目線を大切にしてかかわるということを意識していきたいと思うことができた。
- ◆ 今まで知らないで行っていたこともあり、今後の看護に即生かせるものばかりで勉強になりました。
- ◆ 自分は地方の小さな病院勤務のため、このような機会があるのはとてもありがたい。
- ◆ 最新の治療、看護師のかかわりを学ぶことができてとても参考になりました。
- ◆ 自分の施設でも肝臓病教室(患者サロン)の開催を検討したい。
- ◆ 受診の際には積極的に無料肝炎ウイルス検査を勧めていきたい。
- ◆ 外来と病棟の連携を強化していくことが必要と考えている。
- ◆ 看護師だけではなくほかのコメディカルにも参加を勧めてほしい。

アンケートの結果から…

肝疾患看護の向上と均てん化のためには
「ナースのための肝臓病セミナー」の
活動は有効であり、今後も継続が必要である

課題

- ◆ 北海道は広域であり、都市部以外の地域への啓発を
どのようにしていくか？
⇒北海道3拠点病院との協力体制の強化(来年度に向けて具体化)
- ◆ 地域との連携・共有のため、事例検討会や
グループワークなどの導入も検討していく必要がある。
⇒事例検討会・GW導入に向けての情報収集
- ◆ 肝疾患看護に精通する人材の確保
⇒全国の拠点病院への積極的なアプローチ

肝疾患相談センターから 看護師に期待すること

長い経過をたどる肝疾患患者における看護師の役割を理解し、患者・家族がぶつかる様々な問題に向き合い、寄り添い、支援していくことが大切です。

肝疾患診療連携拠点病院の一員として肝疾患診療・看護の均てん化を目指し、肝疾患相談センターと協力しながら役割を果たしていくことを希望します。

ナースの皆さん
一緒にがんばりましょう!!!





北海道大学 イチョウ並木 2013年10月

ご清聴ありがとうございました…



引用・参考文献・資料

- 東 めぐみ編：進化する慢性看護 看護の科学社
- 鈴木 志津枝 藤田 佐和編：慢性期看護論 第2版 ニューヴェルヒロカワ
- 財団法人エイズ予防財団：エイズ相談マニュアル
- 小西 恵美子編：看護倫理 南江堂

- 厚生労働省 肝炎対策の推進
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/>
- 独立行政法人国立国際医療研究センター 肝炎情報センター
<http://www.ncgm.go.jp/center/index.html>
- 一般社団法人 日本肝臓学会
<http://www.jsh.or.jp/>
- 公益社団法人 日本看護協会
<https://www.nurse.or.jp/rinri/basis/rule/index.html>